

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

岩手県立大学宮古短期大学部

自分は8月30日から9月21日までの韓国の短期留学に参加しました。ソウルのキョンヒ大学というところに行き韓国語を勉強しました。自分はまず飛行機に乗るのがはじめてだったので、緊張しながら韓国に向かいました。もちろん海外もはじめてで楽しみにしていました。韓国の留学に参加した理由は、自分はケーポップが好きなので韓国語に興味があったし韓国にいこうと思っていたので、ちょうどいいと思い参加しました。

【授業】

授業は何クラスにも分けられ、自分は基本的なハングル文字の勉強からはじまり単語、そのあと文法を習いました。自分のクラスには歳が近い人や歳が離れている人や他の海外の人など様々な人がいました。

【宿舎の生活】

宿舎の生活は二人部屋でした。毎日外食だときついと思っていたので自炊していました。近くにダイソーもありそこで水やりティッシュ日用品を揃えました。トイレペーパーを水に流せないのが自分はとてもつらかったです。

【ご飯】

大学の学食はだいたい500円ぐらいでやすくバランスの良い食事でした。スープがどこに行ってもすこしからめのスープがでてきました。飲食店で毎回キムチなど色々なものがでていておいしかったです。韓国の伝統料理をいろいろ食べてみたいと思っていたのがあり食べてみてどれもとてもおいしかったです。

【まとめ】

今回の韓国の短期留学を体験して韓国のまちなかの雰囲気にも直接触れることができたし現地で直接話すことができた経験がとても新鮮でした。スーパーでの買い物など日常会話レベルの韓国語を覚えることができました。これからもっと韓国語の理解を深めていきたいと思っているのでこれからも勉強してからいきもう一度行きたいです。

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

盛岡短期大学部国際文化学科

私は、8月31日から9月20日までの約3週間、2023年度海外研修「韓国・韓国文化コース」に参加しました。

【授業】

初日に先生と一対一のインタビュー形式のクラス分けテストを行い、その後、初級・中級・高級に分かれます。私は、初級2というクラスで授業を受けました。授業では、1・2時間目に文法、3・4時間目に聴いて話すという内容について学習しました。授業は全て韓国語で行われるので、韓国語のリスニング力を鍛えることができました。この他に、文化授業が計4回行われました。文化授業では、韓国の歌、韓国のドラマ、カリグラフィー、韓国の伝統遊びについて学習しました。特に、ユンノリなどの韓国の伝統遊びを実際に体験することができて楽しかったです。

【現地学習】

現地学習の1日目は、国立中央博物館とペインターズ公演観覧に行きました。国立中央博物館は韓国の歴史と文化の中心で、約40万点に達する韓国文化遺産を所蔵しています。そして、2日目にロッテワールドという韓国の代表的な遊園地に行きました。ロッテワールドでは、様々なアトラクションに乗ることができて楽しかったです。現地学習を通して、韓国の歴史や文化に対する理解を深めることができました。

【自由時間】

授業が無い土日や授業が午前中で終わった日は、ショッピングに行ったり、韓国人の友人と出かけてご飯を食べに行ったりしました。友人との会話を通して、韓国語の会話力を高められた反面、自分の韓国語の実力不足を感じました。友人とはサムギョプサルやチキンを食べたり、漢江に行って夜景を見たりしました。本場の韓国料理は本当に美味しくて感動しました。私は特にTWICEやNiziUが所属しているJYPエンターテインメントのグループが好きなので、事務所を見に行きました。事務所の近くにあったたくさんのセニール広告を見ることができてとても幸せでした。K-POPアイドルが好きな方はぜひ事務所巡りをしてみてください。

【まとめ】

3週間という期間は現地で過ごしてみると、長いようであつという間でした。この研修を通して、韓国語の能力が向上したことはもちろん、現地でしか感じられない日本との文化の違いを実際に体験することができてとても貴重な経験になりました。

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

盛岡短期大学部国際文化学科

私は 8 月 30 日から 9 月 21 日までの 3 週間、2023 年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。

〈参加理由〉

私は昨年度もこのプログラムに参加しましたが、コロナウイルスの影響によりオンライン授業のみでの参加でした。今年度は現地学習ができるということで、現地だからこそ得られる学びを求め、再度参加する事にしました。

〈授業〉

まず、クラス分けテストが行われます。先生と韓国語での面接を行い各々に合ったレベルのクラスに振り分けられます。クラスのレベルが合わない場合は初日のみ変更が可能な為、自分のレベルに合った授業を受けることができます。

私は中級 2 のクラスに振り分けられました。中級 2 のクラスの授業内容は細かいニュアンスがあり、使う場面が限定される文法を学んだり、ペアで会話文を作り発表するなどの応用的学習が中心でした。週に 2 回、韓国の文化を体験する授業がありドラマ、KPOP、カリグラフィー、伝統遊びを通して韓国の文化に触れる時間が与えられました。

〈現地学習〉

第一回目の現地学習では、国立博物館で韓国の歴史的な遺産を楽しみ、その後ペインターズという絵にダンスに音楽といった様々なエンターテイメントを織り交ぜた公演を観覧しました。第二回目は、ロッテワールドに行きました。雨が降っていた為主に室内遊園地での行動でしたが、室内のアトラクションもとても面白かったです。

〈トウミ制度〉

これは慶熙大学に通う大学生が、3 週間の研修生活をサポートしてくれる制度で、トウミの学生は 1 人につき 1 人配属されます。注意点としては、3 回は必ず会わなければいけない為それが負担になる場合は申請しない事をおすすめします。しかし、安全に韓国人の知り合いを作る機会になるので、基本的には申請するのが良いと感じました。

〈寄宿舍の注意点〉

今回滞在した寄宿舍は、フェギ駅の目の前にある為、朝 6 時から深夜 1 時頃まではホームのアナウンスや電車の音が聞こえます。気になる人は個人で対策をしてください。

洗濯機の洗濯時間がとても長いので時間短縮モードで洗濯する事を勧めます。3週間生活して服の質が少し悪くなった為、高価な服などは持って行かない又はクリーニングに出す方が良いと感じました。生活用品は何一つ無いので、全て買い揃える必要があります、トイレトペーパーは大容量が殆どの為、近くの部屋の人と共有すると良いです。

外泊は出来ませんが、1週間前までに申請が必要になります。また夜12時から翌朝5時までは寄宿舍に入れないので帰宅時間には十分気をつけてください。

〈韓国に行って分かったこと〉

韓国では食器を持って食べてはいけないと日本で何度も聞いていた為、気をつけていたのですが、韓国人の知り合いと食事をした時みんな食器を持って食べていて、尋ねたところ食器を持って食べても問題無いとの事でした。一緒に食事をした年齢層が若い為、他の年代はまた違うかもしれませんが、これは現地に行かなければ気付くことは無かったと思うのでかなり貴重な気付きとなりました。

交通の面での気付きとして、地下鉄で電話をする人が本当に沢山いました。韓国では迷惑にならないければ地下鉄内で電話をしても良いので、日本との文化の違いをそこではっきり感じました。また、韓国のバスは降りたい停留所が次の場合は席を立ちドアの前で待つ必要があります。すぐに降りないとバスが出発してしまうので気をつけなければなりません。乗車した際も、座る前に発車するので注意が必要です。降りる際はカードを機械にかざすと30分以内の場合は次に乗るバスや地下鉄の料金が無料になるので必ずかざしてから降りるようにしてください。韓国は日本と比べ、公共交通機関の料金が安く、ソウル市内の地下鉄は永住権を持つ65歳以上の人は無料で乗車することができます。これらを踏まえ、韓国は公共交通機関の利用が日本よりもしやすいことが分かりました。

〈まとめ〉

今回の大きな目的は、現地でしか学べないことを学ぶ事でしたが、十分に学ぶことができましたと思います。3週間、韓国人の方々と沢山交流し生活する中で、韓国の人々の心のあたたかさや、生活スタイル、社会の在り方などを大いに感じました。韓国は私が思っていた何倍も情が深くとてもあたたかい国でした。今回の研修を通して、日本国内では知ることの出来ない韓国を知り、理解を深めることができ本当に良かったと感じます。



短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

総合政策学部総合政策学科

【はじめに】

私たちは8月31日から9月20日までの3週間、韓国のソウルにあるキョンヒ大学で、韓国語と韓国の文化を学ぶことができました。私にとって初めての海外であり、不安な面もありましたが、実際に行ってみるととても楽しく、充実した時間を過ごすことができました。

【授業】

授業は、クラス分けテストの結果によって決められたクラスで受けます。文化授業がない日は9時から13時、文化授業がある日はお昼の休憩を1時間挟んで、9時から16時まで授業があります。文法と聞いて話すの授業は毎日行われました。文化授業では、韓国の伝統遊び、ドラマ、歌、カリグラフィーを実際に体験しながら学びます。

【生活について 宿舎】

宿舎は、同じ大学の人と2人1組の部屋でした。寮の近くにダイソーがあるため、掃除の道具や食器など生活必需品はそこで揃えることができました。また、トイレトペーパーの価格が高く、量が多いため近くの部屋の人と分けて利用しました。ゴミは指定された袋をスーパーやコンビニで買い、分別をして捨てます。夜の12時から朝の5時までは防犯のため日寮の入り口が閉まるため注意が必要です。外泊することもできますが、1週間前までに申請が必要でした。寮から大学までは、歩いて20分前後でした。

【クラス分けテスト】

現地についた次の日にクラス分けテストが行なわれました。テストは先生と1対1で、口頭で行われます。先生の質問に韓国語で答えます。一部ですが、例として、私は最近見たドラマやなぜ韓国語を勉強しているのか、いつから勉強しているのかなどを質問されました。

【自由時間】

文化授業のない日は13時に授業が終わるため、それ以降の時間と土曜日、日曜日は自由時間でした。明洞や弘大、東大門、聖水、漢江など様々な場所に電車で行き、ショッピングをしたり、ご飯を食べたりしました。私は韓国の歌手やブランドが好きで、YGエンターテインメント、SMエンターテインメント、韓国で人気なブランドのショップなどに行けたことが印象的でとても楽しかったです。自由時間の中で洗濯や掃除、課題をする必要があるため、時間を決めて、やるべき事と遊びのバランスを取ることが重要です。



↑ソウルの森

↑漢江

【食生活】

寮の近くには、カフェやパン屋、ピザ屋、食堂など多くの飲食店があります。また、近くにはスーパーやコンビニもあり、部屋のIHや電子レンジを使って自炊をしている人もいました。3食を自分で調達する必要はありますが、特に苦勞することはなかったです。また、大学と寮周辺にはカフェが特に多く、授業にコーヒーを持ってくる先生やクラスメイトが多かったです。

【トウミ】

トウミとは、私たちの韓国語の学習や現地での観光、生活を助けてくれる人のことです。今回の研修では、トウミを希望する人が大学に申請をし、留学生1人に対して1人のトウミがつけました。それぞれのトウミと連絡先を交換し、予定を話し合っ決めてという仕組みです。私は3週間のうち、3日間トウミと会いました。大学祭のアーティスト公演を見たり、カフェで話したり、キョンヒ大の学生がよく行く美味しいご飯のお店を教えてもらったりして、とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。



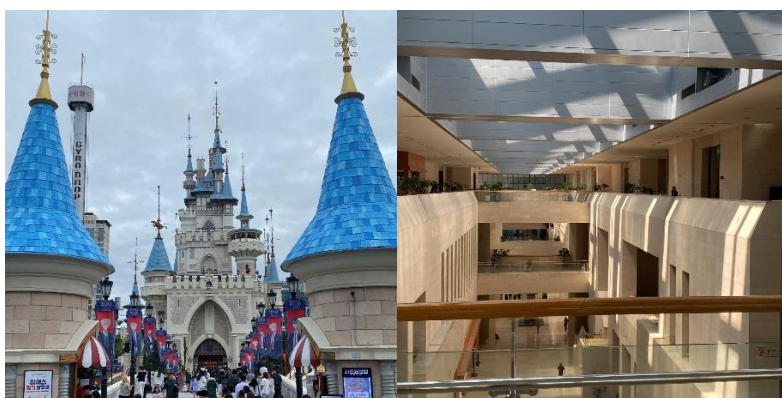
↑安国のパン屋

↑学校近くの食堂

↑大学祭

【現地学習】

現地学習は、2週目と3週目に1回ずつ、計2回行われました。1日目は、国立中央博物館とペインターズの公演を見ました。学校に集合し、バスで移動しました。韓国の文化と歴史をよく理解することができました。2日目は韓国の代表的な遊園地である、ロッテワールドに行きました。先生とクラスの人と駅で待ち合わせをし、地下鉄で移動しました。少し雨が降る時間もありましたが、室内にも多くのアトラクションがあり、無事に楽しむことができました。人気のアトラクションは、決まった時間に予約の紙を受け取る必要があったため、乗りたいアトラクションがある場合は確認してみることをお勧めします。



↑ ロッテワールド

↑ 国立中央博物館

【まとめ】

私は、自分の語学力や、初めての海外で3週間生活できるかどうかといった不安があり、この研修に参加するかどうか、募集の締め切り直前まで悩んでいました。しかし、勇気を持ってこの研修に参加を決めて良かったと心から思います。韓国の文化を実際に体験しながら学べたことで、韓国と日本の良さをそれぞれ見つけることができ、どちらの国もより好きになりました。また、韓国の大学生と話していて、美味しいご飯屋さんや文化、歴史、今流行っているものなどをたくさん知っていると感じ、自分も日本、岩手のことについてもっと沢山知りたいと思いました。研修中、日本の他大学の学生や韓国の大学生と話したり、現地の人たちに親切にしてもらったり、素敵な人にたくさん出会えて、自分がこうなりたいと思える人たちに出会うことができました。さらに、毎日沢山のところに行って、遊び、勉強しました。これにより、体力と行動力が身につきました。高校生の時から行ってみたかった韓国で過ごした3週間は、私にとって夢のような時間でした。どの思い出も本当に大切です。今後も韓国語の学習を継続し、この研修で学んだことを生かして、機会があったらもう一度韓国を訪れたいと思います。

短期海外研修 韓国語・韓国文化コース 体験記

社会福祉学部社会福祉学科 3年

<クラス分けテスト>

クラス分けテストは、廊下で先生と1対1で面接のような感じで行われた。韓国語をどれくらい勉強したか、今日の天気はどうか、得意なことは何か、韓国語を勉強して何をしたいかなどを韓国語で聞かれ、韓国語で答えるというものだった。基礎から学びたいという要望も伝えると反映してくれたため、易しすぎたり難しすぎたりせず自分のレベルにピッタリなクラスに配属された。

自分に合ったレベルに配属されることで、授業の楽しさはだいぶ左右されると思うので、レベル分けテストでは自分の実力を卑下せずに臨むのがオススメです。

<授業>

一日に1コマ50分、休憩10分で、文法の授業を2コマ、「聞いて話す」という授業を2コマ受けた。聞いて話すはその日習った文法を使ってリスニングをしたり、ペアで会話の練習をしたりした。

初日の授業は緊張して長く感じたが、2日目からは慣れてきてとても楽しかった。

先生は基本的に優しく、授業は韓国語のみで進むが、ゆっくり話してくれるのでとても分かりやすかった。私のクラスは日本人だけで、社会人の人もいた。宿題が出ることもあったので、寄宿舎に帰ってからは復習や宿題をした。

文化授業は全部で4回あり、KPOP、伝統の遊び、韓国ドラマ、カリグラフィーについて楽しく学んだ。韓国ドラマの授業では、ドラマのワンシーンを見てネイティブの発音を学んだり、セリフを使って役になりきりロールプレイをしたりした。私が特に楽しかったのはカリグラフィーの授業で、筆ペンを使ってハングル文字をデザインし、ポストカードを作った。

<現地学習>

現地学習は2日あり、クラス単位で行動する。1日目はソウル国立中央博物館とペインターズの公演を観覧した。博物館では、韓国の時代劇に出てくるような歴史的な展示物や美術品だけでなく、日本、インド、中国、ギリシャなどの世界的な歴史に関する展示も見ることができる。特に、韓国の視点から見た日本や世界に触れることができ、興味深かった。

昼食は博物館内のレストランで、クラスのメンバーとビビンバを食べた。

ペインターズの公演では、4人の俳優による絵のパフォーマンスを鑑賞した。1人1枚のキャンバスに絵を描き、最後に4枚合わせるとひとつの絵が完成するパフォーマンスや、蛍光のライトだけで描く幻想的な絵がとても綺麗だった。

2日目はロッテワールドに行って遊んだ。屋内と屋外のアトラクションがあり、怖くない乗り物もあった。私は絶叫系が大の苦手だったが、メリーゴーランドに乗ったり、天井にくっついている気球で園内を1周したりして、充分楽しむことができた。昼食はミールチケットで洋食・中華から好きなものを選ぶことができる。私は中華のお店でジャジャン麺を食べた。クセが少なく、美味しかった。

韓国の博物館やレジャー施設を授業の一環として観光することで、クラスの仲間とも距離が縮まり、貴重な体験となった。

<トウミ>

授業開始日から3日ほどで、トウミの方からメールが届く。トウミは希望制で、留学生1人に韓国人大学生1人がついて、滞在中は基本的に3回会うことになっている。トウミの中には、日本語を勉強していて日本語が話せる方もいる。私のトウミはほんの少し日本語を知っているが、コミュニケーションは韓国語と翻訳アプリで行った。日本が好きな人だったので、私は日本語を、トウミは韓国語をそれぞれ教え合った。

トウミは2歳年上の女性で、漢江公園、景福宮、聖水洞に連れて行ってくれた。写真を撮るのが上手で、初めて行った漢江では200枚ほど写真を撮ってくれた。

おしゃれなカフェや美味しいご飯屋さんにも連れていってくれた。4回しか会うことが出来なかったが、すぐに仲良くなることが出来た。最後に会う日には、日本から持って行った「蒸気でアイマスク」をプレゼントしたらとても喜んでくれた。

<自由時間>

寄宿舍から徒歩1分以内のフェギ駅から地下鉄に乗ると、漢江公園やソンス、東大門、明洞、弘大などに40分以内で行くことができる。運賃も片道1500ウォン（約160円）以下と安い。学校の後でも、漢江で憩いのひとときを過ごしたり、トウミと市場やカフェに行ったりと満喫することができた。明洞や弘大は観光地のためか日本語が通じるお店もあった。大学祭と時期が被っており、今年はSTAYCやBOYNEXTDOOR、NewJeans、ZICOなどが招かれ、留学生でも近い距離で見ることができ、大盛り上がりだった。

<食事>

コンビニではキンパやおにぎり、パン、お菓子、ラーメンなど様々な食材を揃えており夕食や朝食、おやつなどを気軽に買うことができる。

大学の近くなのでマッチブやカフェが多く、チキンやチゲ、ピザ、サムギョブサルなど楽しむことができる。特にトウミが美味しいお店に連れて行ってくれたり、おすすめリストを作ってくれたりしたので、現地のご飯を満喫することができた。

<寄宿舍>

学校から徒歩20分程のところであり、一階にはコンビニやカフェがある。IHのキッチン、冷蔵庫、電子レンジ、シャワー、トイレ、洗面台、エアコンが完備されており、2段ベッドにはシーツ、布団、枕が用意されている。騒音注意などの貼り紙はあったが、基本的に他の部屋からの騒音はなく快適に過ごせた。鍵はオートロック式で便利だった。初日の夜に入居者でミーティングを行い、誓約書と寄宿舍の説明を受けた。また、その時に寄宿舍のグループチャットに入り、点呼の日時や注意喚起などの連絡はグループチャットで行われた。ゴミ捨て場は1階の外にあり、近くのスーパーで一般ゴミと生ゴミの指定ゴミ袋を購入し、プラスチック、ビニール、紙、ペットボトル、一般ゴミ、生ゴミなどの表記に従って丁寧に分別して捨てる。分別がしっかりされていないと減点される場合がある。一般ゴミと生ゴミは指定の袋があるが、それ以外は持参したビニール袋が役に立った。

2週間おきに点呼があり、部屋の整頓やゴミを出せているかチェックされるため、寄宿舍の向かいにあるダイソーでフローリング拭きなどを買って掃除をした。実際の点呼は、退去時の説明だけだった。

<コロナについて>

街中や学校ではマスクをしている人はほぼ居なかった。

また、私は2週目の日曜日に発熱があったため、キム・イエウォン先生に電話すると、寄宿舎の先生と連絡をとってくださり、検査キットを部屋まで届けてもらった。部屋で検査したところ、陰性だった。イエウォン先生も寄宿舎の先生も日本語が通じるのでいざという時でも安心だった。

海外なので、体調面の心配は大きかったが、常備薬など多めに持参するなど安心材料があるととても助かる。

<まとめ>

私は実は、3週間海外で生活することがとても不安で、行く直前まで申し込みを取り消そうかと思っていた。しかし、いざ着いてみると驚くほど普通に生活でき、緊張感はあったが2日目以降はそれ以上に楽しんでいる自分が居た。

特にクラス分けでピッタリのレベルに配属されたのは、とても幸せなことだった。私は韓国語を音楽やドラマ、バラエティなどから適当に身につけただけだったので、韓国で生の韓国語を基礎からきちんと学べたことは貴重な経験だった。

また、街の人やトウミと話す時は、韓国語で会話することがとにかく楽しかった。

勉強だけでなく、ショッピングや観光も自分たちで計画を立てて、地下鉄やバスで目的地に行くという経験は私に大きな自信をくれた。

寄宿舎での2人1部屋の生活も初めてで不安だったが、ルームメイトと沢山助け合い、中も深まって良い経験になった。

私はこの機会を逃さなくて本当に良かったと思っているし、他では学べない沢山のことを学んだ。サポートして下さった多くの方に感謝する。